

[概要]

見学先：株式会社浜野製作所 浜野 慶一 代表取締役 東京都墨田区八広 4-39-7

見学実施概要：2015年7月3日（水）13時～16時 参加者24名

[報告]

梅雨空、雨模様のもと、京成押上線八広駅から10分の同社を訪問した。従業員の皆さんの作業服も主要工場の色彩もカタログも斬新な赤を基調としたユニークなものである。都内のせいもあり、工場もマンション風に立体的で数棟の建屋に分散していた。ショールームを兼ねた集会室で、藤林副社長から「おもてなし経営」の流れに沿った、工場設備や製品市場の特長についてのご説明があった（写真参照）。

2班に別れて見学した工場設備としては、板金・プレス金型・機械加工・溶接などをメインに、CNC加工機、レーザー加工機、3D スキャナー、3D プリンターなどの補助手段も活用しておられた。製品群から見ると試作の武器として必要となる堅フライスや倣い旋盤などは不要の様様である。

高付加価値製品の試作や小規模量産への優れた実績が定評になり、営業活動以外でも「ロコミ」で注文が集まっており、「面白いことをやろう」という「ものづくり精神」が技術力に支えられて会社の競争力になっている模様である。

上記のものづくり精神の一つの実現形として、専門学校や大学生のインターシップ受入れに積極的で、アウトオブキザニアで子供達に「ものづくり体験」をさせる催しでのスカイツリー模型や、深海探査機器の紹介、パラボラアンテナ、ロボットなどの試作品が所狭しと並んでいた。将来を見据えた後継者育成にも積極的に取り組んで居られる。

浜野製作所を代表するドル箱製品には遭遇出来なかったが、羨ましいほど新しいテーマに事欠かない。恐らく今後その卓越した技術力で他社の追従を許さない宇宙・航空機部品、高品位アンテナ部品、思考ロボット部品などが登場して、同社の屋台骨を支える事になっていくに違いないと感じた。＜平山記＞

